

# 消費税増税 ストップを



街頭で消費税 10% への増税中止を訴える堀内市議 (3月)

日本共産党は予算議会の代表質問で、安倍政権がすすめる消費税増税・社会保障削減の中止を求めるよう、市長をただしました。

## 安倍政権の大増税に 追隨する高島市長

安倍政権の強行する消費税の 10% への増税で 1 世帯年 6 万 2000 円、1 人 2 万 7000 円もの大負担増に。

日本共産党は「低所得者ほど負担の増加率が大きく逆進性がかえって強まると同時に、消費を冷え込ませ景気悪化の引き金を引くものだ。それでも市長は消費税増税を容認し、安倍政権と一緒にあって市民に押し付けるつもりなのか」と追及しました。

高島市長は「社会保障充実の観点から実施されるもの」として、増税を容認する答弁をおこないました。

堀内市議は、市民のくらしを守るためにがんばります！

# 浪費ストップ!

## ●クルーズ船対策で岸壁づくり、さらに数十億円かけ埋立へ

いつまで続くかわからない大型クルーズ船のためだけに 7 億円の追加補正予算を組んだ高島市政。箱崎ふ頭で臨時的に対応している現在の形で十分です。

これをテコに、数十億円かけて中央ふ頭を新たに埋め立てる方針など、博多港港湾計画で描いた、さらなるムダづかいに突き進むことは許されません。

## ●福岡空港に不要不急の高速道路を 500 億円かけ延伸

国内線は発着回数も乗降客数も増えないことは市が認めており、「高速利用の車が 1 日 5000 台増える」という市の言い分に根拠はありません。

また、トンネル方式のため、液状化現象や豪雨による浸水の危険があります。

500 億円かけて、わずか 5 分しか短縮効果はありません。

# 福祉切り捨てNO!

## ●私立保育所運営費助成をカット

福岡市保育協会への補助金を削減するため、各園 200~300 万円もの補助金カットになります。専門職である保育士が最低賃金ギリギリの低賃金や長時間労働が押し付けられているなかで、長時間保育手当・被服手当・研修費の補助金をバツサリ削るものです。

補正予算案などの反対討論をする堀内市議 (2016年2月23日)



# 堀内市議が討論

2月12日、高島市長は、「成長の果実を子どもからお年寄りまで」などとする新年度予算案を発表しました。しかし、実際には、大企業奉仕のムダづかいと市民いじめのオンパレードです。

2月の補正予算も同様の問題があり、堀内市議は反対討論に立って、市政の転換を迫りました。



# 大企業奉仕のムダづかい 市民いじめの「行革」

# 中止を

「成長の果実を市民へ」(高島市長)どころか...



**堀内徹夫**  
市議会議員

**日本共産党**

南区民報 議会報告  
2016年春季号外 No.5

堀内徹夫市議の活動を紹介します。市政へのご意見・ご要望をお寄せください。ブログ・フェイスブック・ツイッターはほぼ毎日更新中。「堀内てつお」で検索してみてください!

発行：日本共産党福岡市議団  
www.jcp-fukuoka.jp  
電話 711-4734 FAX741-4627

**無料生活相談**

- 毎月第2水曜日
- 18時~20時
- 堀内徹夫事務所  
南区玉川町6-16(1階)  
☎552-2001  
弁護士が来ます。お気軽に!

「**しん赤旗**」を  
読みませんか

- 日刊紙/月 3497円
- 日曜版/月 823円
- 申込は ☎526-2133

子どもの通院

# 自己負担導入やめよ

高島市長は、いま小学校入学前までの子どもの通院医療費への助成を今年10月から小学6年生まで拡大する議案を発表しましたが、同時に自



「中3まで完全無料に」と申し入れる市民団体に同席する堀内市議（右端、2月9日）

己負担を導入し、これまで無料だった3歳から入学前までの子どもは負担増になります。

日本共産党は3月3日の代表質問で自己負担導入をやめ、中学3年生まで入通院ともに完全無料にするよう迫りました。

中3まで入通院とも完全無料に

このご時世に暖房がないって…



こんなことまで申し入れなければならぬとは、市教委はどうなっているのかと思いました

おかしすぎます！しかもこの寒波ですよ。四の五の言わずにつけりゃいいですよ！

こんな、当たり前の配慮すら出来ない教育現場があること自体、信じ難いです！



福岡市教育委員会の異常な態度に、ツイッター（インターネットの短文投稿サイト）でもあきれ声が広がっています。

ネットで話題に

日本中があきれた

子どもに無意味な苦行

1月23～25日にかけて福岡市など九州北部は記録的な寒波に…。日本共産党市議団は、学校教室にエアコンがあるのに暖房使用を認めない市教育委員会の方針をあらため、暖房使用などを認めるよう1月25日に市教委に申し入れました。

1月に堀内市議は、暖房使用を市教委へ申し入れるとともに、2月議会でも討論の中

インフルエンザ対策にも役立つ

教室は2℃になる寒い日もありますが、文部科学省の学校環境衛生基準は教室の温度は「10℃以上が望ましい」としており、市教委の姿勢はこの法令にもそむくものです。

国の基準でも「10℃以上」

市内の小学校にはエアコンがすでに設置されていますが（中学校は今年夏設置予定）、市教委は電気代などを理由に「衣服による調整が可能」として暖房使用を認めていません。また、実際には多くの学校現場で授業中の防寒着の着用も認められていません。

「衣服で調整が可能」!?



で暖房使用を認めるよう提案しました。

今年インフルエンザが警報レベルに達しましたが、日本共産党は2月議会でも、暖房がインフルエンザ予防に役立つことを紹介しつつ、文科省が「児童生徒等に生理的、心理的に負担をかけない最も学習に望ましい条件は、冬期で18～20℃」としていると指摘。市教委に暖房使用を迫りました。

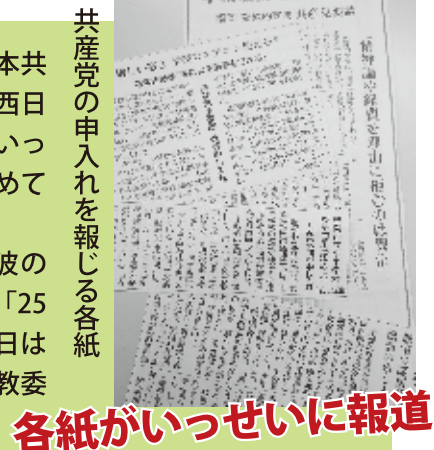
教育長は、どんなに寒くても暖房は使わせないとという異常な立場にしがみつきました。

# エアコンあるのに使わせない!?! 教室の暖房使用認めよ



1月25日にも日本共産党市議団として暖房使用を要請しました（右端が堀内市議）

# 堀内市議ら市教委に申し入れ 市議会でも提案



各紙がいっせいに報道

堀内市議らが参加した日本共産党の申し入れに対して、西日本・朝日・読売など各紙でいっせいに報道され、注目を集めています。

「今回のような記録的寒波の場合は検討の余地がある」「25日のような記録的な寒さの日は判断が必要」などと市教委のコメントを載せています。

共産党の申し入れを報じる各紙